

諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成23年 7月

(平成23年 6月末調査)

平成23年 7月26日
長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266 (23) 4567

FAX 0266 (23) 8044

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【 5月】	諏訪公共職業安定所管内	0.60倍	+0.12ポイント	
手形交換高【 6月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	7,461枚	△502枚	
	金 額	9,275百万円	+155百万円	
	うち不渡り	枚 数	6枚	+4枚
	発生状況	金 額	9,586千円	+9,287千円
電力使用量【 6月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	39,248 MWh	△3.7%	
	高压電力計	94,670 MWh	△4.3%	
	合 計	133,918 MWh	△4.1%	
車庫証明取扱件数【 6月】(諏訪地方合計)		927件	△14.6%	
新設住宅着工戸数【H23.4月～5月】(諏訪管内)		159戸	+6.0%	

□本文は、当金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ。

地域の概況

●製造業

自動車部品関連の下請企業の受注動向は企業により区々だが、総体では概ね回復傾向となっている。また、最終メーカーが平日休みの土日出勤となっていることから、同様の勤務体系としている企業や交代勤務にて対応している企業などがみられるが、納期やコストなどの調整に苦慮している。工作機械などの産業設備関連では、アジアなどの海外工場向けは比較的堅調なものの、足元の受注は総体的に弱含んでおり、先行きにも引き続き不安感がきかれる。デジタル一眼レフカメラ関係では、被災地からの代替生産のスポット受注は終了しつつあるも、輸出が比較的堅調なことから受注状況は安定している。

地域製造業の生産状況は企業や業種により増減区々であるが、総体では震災後の混乱からは回復し正常化が進んでいる。受注水準も徐々に持ち直してきているが、足元の円高に加え、さらなるコストダウン要請、また電力不足の影響による大手企業の生産の海外移転の進行を危惧する企業が多くなっている。

●商業

全国的にもエコや節電等に向けた取り組みがきかれるが、諏訪地域でも同様の動きがみられる。家電店では、扇風機が家庭用に加え法人によるまとめ買いがみられることから品薄状態となり、ホームセンター等でもすだれなどの暑さ対策商品や他のエコ・節電関連商品の売れ行きは例年の数倍となっている。食品では、気温の上がった下旬以降は飲料水、氷菓の動きが好調となり、震災以降の中食傾向が引き続いていることから惣菜関連が好調とする店舗もみられる。衣料品では、Tシャツや肌着などのカジュアル衣料や実用衣料の動きは堅調だったものの、ファッション衣料では7月からのセール待ちの姿勢がきかれた。

●観光業

6月の諏訪地域への入り込み客数は御柱祭があった昨年に比べると減少したものの、諏訪大社の参拝者数は一昨年に比べ約12千人の増加となるなど、震災後の落ち込みからは個人客や少人数のグループ客を中心に回復傾向となっている。

上諏訪温泉の宿泊者数は個人客を中心に回復しており、総体の宿泊客数も前年に比べ幾分増加した。また、8月15日の諏訪湖上花火大会のマス席・ブロック席の抽選が行われ、例年並みの人気となっている。

夏の観光シーズンに向けては、首都圏での節電への取り組みや夏休みの長期化、分散化等の影響により、高原の観光地を中心に宿泊予約状況は堅調となっている。また、震災の影響でお盆頃までの団体客の予約はキャンセルが相次いだが、足元では秋以降の予約・問い合わせが順調に伸びているとする声もきかれる。

●建設業

市町村の6月の発注工事は、建築工事10件484百万円、土木工事・下水道工事51件217百万円、その他工事19件404百万円の合計80件1,107百万円で、前年同月比で件数は△14件減少、契約金額は△259百万円の減少となった。県関係の6月の公共工事（地元業者受注分）は11件243百万円で、平成23年4月～6月の累計契約は14件254百万円と前年同期累計比で件数は△12件減少、契約金額は△106百万円の減少となった。

民間工事は、諏訪地方の5月の新設住宅着工戸数は60戸と前年同月比+6戸（+11.1%）の増加となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」が+10戸の増加、「貸家」が△4戸の減少となっている。住宅版エコポイントの期限が7月末までのため住宅着工の駆け込みや各市町村のリフォーム助成事業の効果もきかれるが、基調としては弱含みで推移している。

●雇用

諏訪地域の5月の有効求人倍率は、前年同月を+0.12ポイント上回り0.60倍と前年同月を14ヶ月連続で上回っているものの、依然として低水準で推移している。また、全国の同倍率は0.61倍、長野県の同倍率は0.68倍となっている。

諏訪地域の5月の新規求人（全数）は1,272人で前年同月比+213人（+20.1%）の増加、新規求職者数は1,257人で前年同月比+105人（+9.1%）の増加となっている。産業別の前年同月比の新規求人数は、建設業で+127.6%増加、その他サービス業で+65.0%増加しているものの、製造業では△20.1%減少している。

なお、5月の1件10人以上の人員整理は0件、事業主都合による雇用保険資格喪失者は75人で前年同月と同数、前月より△90人減少した。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板	企業により区々であるが、引き続き省エネ家電向け等の受注は旺盛である。
プリンター	下請企業の受注は比較的安定した推移となっている。
コンタクター・リレー	工場向けの電源切換器等の受注が引き続き好調である。

2. 輸送用機械

自動車	下請企業の受注動向は、総体では概ね回復傾向となっている。また、最終メーカーが平日休みの土日出勤となっていることから、同様の勤務体系としている企業や交代勤務にて対応している企業などがみられるが、納期やコストなどの調整に苦慮している。
ピストンリング・シリンダーライナー	完成車メーカーの生産回復に合わせ、秋以降の増産が見込まれている。
船外機	新興国向けの機種が好調で、下請企業の生産も高水準である。

3. 一般機械

工作機械・専用機	アジアなどの海外工場向けは比較的堅調なもの、足元の受注は総体的に弱含んでおり、先行きにも引き続き不安感がきかれる。
搬送用機械	食品関連向けは引き続き安定している。
金型	医療機器や携帯電話向けが堅調とする企業もみられるが、総体では受注の弱含み感がきかれる。
ダイカスト	親会社により区々であるが、自動車関連での受注回復がきかれる。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルスチルカメラの5月の生産台数は928万台で前月比+16.6%増加、前年同月比△8.5%減少となっている。5月の出荷台数は国内出荷57万台、海外出荷874万台の合計931万台で出荷台数全体では前月比+14.6%増加、前年同月比△6.0%減少となっている。デジタル一眼レフ関連の下請企業では、被災地からの代替生産のスポット受注は終了しつつあるも、輸出が比較的堅調なことから受注状況は安定している。
レンズ	一定量の在庫確保のために発注量を増やしている企業があり、引き続き高水準の生産状況がきかれる。

5. 織 維

ニット

秋物のサンプル生産に移行しているが、小ロット化に加え 原材料価格の値上がりがきかれる。

6. 食 品

寒天

味噌

菓子業者向けは堅調であるも、スーパー向けで弱含み感がきかれる。需要の減少期であるが出荷は比較的堅調である。各社とも新商品の発売やメニュー提案などに力を入れている。

7. 製 材

諏訪地方の5月の木造住宅着工戸数は53戸で、前年同月に比べ+6戸の増加となった。震災後の建材等の品薄状態は改善されてきている。

8. 建 設

公共工事

6月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、諏訪建設事務所6件、林道治山工事関係1件、農地整備課1件、その他土木工事3件の合計11件、契約金額243百万円となった。また、平成23年4月～6月の累計契約は14件254百万円で、前年同期累計比で件数は△12件減少、契約金額は△106百万円の減少となっている。

市町村の6月の発注工事は、建築工事10件484百万円、土木工事・下水道工事51件217百万円、その他工事19件404百万円の合計80件1,107百万円で、前年同月比で件数は△14件減少、契約金額は△259百万円の減少となった。

民間工事

諏訪地方の5月の新設住宅着工戸数は60戸で前年同月比では+6戸(+11.1%)の増加となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」は+10戸増加の59戸、「貸家」は△4戸減少の0戸、「分譲」は前年同数の1戸となった。平成23年4月～5月の年度累計は159戸で前年同期累計に比べ+9戸(+6.0%)と小幅ではあるが前年を上回っている。

また、長野県内の5月の新設住宅着工戸数は802戸で、前年同月比△10.4%の減少となっている。なお、前年同月比の利用関係別では、「持家」が551戸で△7.6%減少、「貸家」が142戸で△39.1%減少、「分譲」が109戸で+73.0%増加となった。

住宅版エコポイントの期限が7月末までのため住宅着工の駆け込みや各市町村のリフォーム助成事業の効果もきかれるが、基調としては弱含みで推移している。

9. 商 業

諏訪地方の6月の天候は、梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かったものの、下旬には晴れた日も多く気温は高くなった。

全国的にエコや節電等に向けた取り組みがきかれるが、諏訪地域でも同様の消費者行動がみられる。家電店では扇風機が品薄状態となり、ホームセンター等でもすだれなどの暑さ対策商品や他のエコ・節電関連商品の売れ行きは例年の数倍となっている。

お中元コーナーは6月中旬から設置した店舗が多く、今年2月にまるみつ百貨店が閉店した影響から例年より売上が伸びているとする店舗もみられる。

衣料	Tシャツや肌着などのカジュアル衣料や実用衣料の動きは堅調であるが、ファッション衣料ではセール待ちの姿勢がきかれる。
食料品	気温の上がった下旬以降は飲料水、氷菓の動きが好調となった。震災以降の中食傾向は続いており、惣菜関連が好調とする店舗もみられる。
家電製品	節電対策から扇風機は品切れとなり、薄型TVもデジタル放送への完全移行を前に駆け込み需要がみられる。
自動車	諏訪地方の6月の車庫証明件数（軽自動車除く）は927台で前年同月比△158台（△14.6%）の減少となった。新車の供給不足や中古車価格の上昇により総体の動きは弱含んでいる。
ホームセンター	すだれ等の暑さ対策商品や他のエコ・節電関連商品の売れ行きは、例年の数倍となっている店舗が多い。

10. 観 光

6月の諏訪地域への入り込み客数は、御柱祭の効果があつた昨年に比べると減少したものの、個人客や少人数のグループ客を中心に動きは回復傾向との声がきかれる。

首都圏の節電や夏休みの長期化、分散化等により高原の観光地を中心に夏の宿泊予約状況は堅調である。また、震災の影響でお盆までの団体客の予約はキャンセルが相次いだが、ここにきて秋以降の予約・問い合わせが順調に伸びているとする施設もある。

上諏訪温泉	個人客を中心に宿泊客は回復しており、総体の宿泊客数も前年に比べ幾分増加した。8月15日の諏訪湖上花火大会のマス席・ブロック席の抽選が行われ、例年並みの人気となった。
蓼科・白樺湖・車山	入り込み客数は比較的堅調だったものの、宿泊客数は前年に比べ減少した施設が多い。一方、避暑のため夏の予約は例年より好調である。
下諏訪温泉	前年比の宿泊客数は施設により増減区々である。多くの施設が参加する「下諏訪温泉 湯めぐり連泊プラン」による集客が期待されている。
諏訪大社	上社・下社合わせた6月の参拝者数は約53千人と御柱年である昨年比では減少しているものの、一昨年比では約12千人の増加となった。